

平成25年度 第1回福知山市入札制度改革等検討委員会 議事概要

開催日時及び場所	平成26年2月14日（金） 午後2時00分～ 福知山市庁舎5階全議員協議会室	
出席委員名簿（職業）	<p>委員長 <small>たかはし ゆきお</small> 高橋 行雄（弁護士、現福知山市入札監視委員長）</p> <p>委員 <small>きし みちお</small> 岸 道雄（立命館大学政策科学部教授）</p> <p>委員 <small>せきね えいじ</small> 関根 英爾（ジャーナリスト（元京都新聞論説委員））</p> <p>委員 <small>まつしま かくや</small> 松島 格也（京都大学大学院工学研究科准教授）</p>	
議事概要	<p>1 開会〔あいさつ（松山福知山市長）〕</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 委員紹介及び事務局紹介</p> <p>4 福知山市入札制度改革等検討委員会設置要綱等について</p> <p>5 委員長及び委員長の職務代理選出 ◇委員長には高橋委員が選出され、委員長職務代理者には岸委員が指名された。</p> <p>6 議事 (1) 福知山市の公共調達の現状 (2) 地域の建設業をめぐる状況 (3) 福知山市の入札契約制度の見直し概要</p>	
委員からの意見・質問 とそれに対する回答	意見・質問等	回答等
	別紙のとおり	別紙のとおり

意見・質問等	回答等
<p><b>福知山市の公共調達現状</b></p> <p>◇入札契約担当部局について、市長部局と教育委員会等、上下水道部とあるが、上下水道部だけが建設工事・測量建設コンサルタント業務の1者随意契約のみ各所属課に契約等を任せているとあるが、どのような理由からこうなっているのか？</p> <p>◇指名競争入札方式で施工場所が属する小学校の通学区域内の事業者を優先し指名するとなっているが、優先して指名する事業が必ず毎年あるのか？</p> <p>◇執行部局の取り扱う内容の中で建設工事、測量設計コンサルタントは全てということになっているが、修繕・物品については、500万円未満は所属課で取り扱うとなっている。件数にすれば年間何件ぐらいあるのか？</p> <p>◇優先して指名する工事が学区に無い場合もあるということであるが、ほとんど有るというように受け止めて良いか？</p> <p>◇建設工事の格付等級と発注標準のところで経営事項審査というものとの話と成績評価を実施という記載があるが、この内容は、ほぼスタンダードで全国的に見てもそれほど変わったことは無いと思うが、経営事項という経営面であるが、工事の質などを入れ込む余地があるのか？</p> <p>◇経営事項審査に新しく項目を加えるとか成績評価のやり方を変えるなど自由度は</p>	<p>担当課でないと1者随意契約とする理由がわからないことが多く、契約内容を一番よくわかっている担当課が1者随意契約については執行するというように上下水道部で決めているということです。</p> <p>全ての学区に工事が無い場合もあります。その場合は、地域性を序々に広げていくというように考えています。</p> <p>件数の資料がありませんので、また届けるということでお許しください。</p> <p>無い場合もあり、できるだけ平準化するような事業計画をするようにしています。</p> <p>経営事項審査は、公共工事の入札に参加する建設業者の完成工事高や経営規模、経営状況、そして技術力、社会性等の客観事項を数値化したもので、その中に技術者の人数等で点数も変わったりするので、ある程度は見込まれていると思っています。</p> <p>福知山市では経審の客観点のみを対象に格付けをしています。京都府や周りの市で</p>

<p>どのぐらいあるのか？この審議会で提案したときに市の中で反映される話なのか、それとも国の規定によってその自由度はあまり無いのか？</p>	<p>は主観点として除雪をしている業者、防災協定を締結している業者、ISOの取得業者などいろいろと配慮して主観点を格付けに生かしている自治体があります。福知山市は、客観点だけで等級を決めているのが実情です。今後、意見が出る中で見直していく余地はあるかと思っています。</p>
<p>◇それでは比較的良い制度に向けて改善していくことは可能であるということの良いか？</p>	<p>補足ですが、改善の方向では考えていきたいと思っています。会社自体の経営力とか技術力を反映するもの、それから各々の工事の中身や出来栄等を反映するもの、反映の仕方が2つあり、1つは客観点プラス主観点で各自治体が工事成績点、除雪車両や工事機械を持っているかを評価に入れ込むことはあります。それは会社自体の成績であって、個別の工事が良かったかどうかは反映しにくい分もあります。その場合は、福知山市でやっている、ある一定の優秀な成績を持った者は、少し入札に参加する回数や地域を増やすなどの成績反映というやり方があります。もう一つは、総合評価という形で、その工事ごとにその会社のこれまでの成績を落札に向けた有利な判定をしていくというやり方もあります。主観点に入れるとなると作業が非常に大変であるので作業量とそれをする事によっての効果はどうなのか、比較検討をしながら考えていきたいと思っています。</p>
<p>◇実質的にきちんとした入札をしようとするれば、競争性がきちんと担保されているのかということが非常に重要なポイントであると思うが、メンバーが非常に固定化されているとか、一般競争入札にしても条件付きにしたり、あるいは指名競争</p>	<p>今の状況の中できちんと競争性が担保できているのか、業者の技術力・実力に応じたような発注の枠組みになっているのかどうか、検証をしていかなければいけないと思っています。総合評価ができているのか、低落札やダンピングがあるのか、それから</p>

にしても指名の基準などを曖昧にすることによって、競争性が非常に大きく損なわれたりもするところが実際問題非常に大きいところである。そういう点で等級を用いたランク付けや客観的な資料がありながら、実質的にはその他の条件を設定することによって制度を損なっていないかなど、実質的な検証をすることが非常に大事だと思うが、これまで市が行ってきた運用面でそういった問題をどのように把握しているのか、制度をいろいろ作ってみても具体的な運用面でどういう弊害が出ているとか、どういうメリットが出ているというところを評価していかないと制度は作っても魂が入らないということになるので、そのあたりのところを議論の中で反映できるように市として踏み込んでいただきたいと思うが、全般的な問題についてぜひ伺いたいと思う。

### 地域の建設業をめぐる状況

◇ダンピングの防止のところでは落札率の話があったと思うが、落札率は予定価格に対する落札率の割合ということで良いか？

◇府よりも落札率が少し低いのでこれが問題だという話もあったが、その一方で最低の質が確保されていれば金額が低いにこしたことはないという議論もあるかと思うので、必ずしも低いのがダメで高いのが良いとは限らないということで良いか？何をもってダンピングというのか非常に難しく何%ならダンピングで、それ以上ならダンピングでないというのは言

A B Cの格付けが本当にそこに属している企業の技術力と施工能力にピッタリあっているのか、これは検証して必要なものであれば変えていくということを考えていかなければならないと思っています。実際に、この点が非常に問題であるというところまでの認識はありませんが、いずれにしても意見を聞きながら検討をして改定はしていく必要があると思っています。

予定価格に対する落札額の割合です。

地方自治法では、最低の経費で最大の効果を上げるようになっているので、一定品質を確保できれば、それに対して落札率そのものを上げるというのは目標ではありません。これを一定の指標として見る場合、やはり国交省でいう何%上のほうが質の確保ができていているという国交省の指標もあるので、それに近づけるというようなことも考えながらやっています。

<p>いづらく必ずしも落札率を上げなければならぬということではないと考えて良いか？</p> <p>◇ダンピング、落札率も含めてどういったものが書いてある目指すべき姿、道を表すものか、逆に言うとどういった業者が、どういった形があるべきか、ということを考えて、それを可能な限り客観的に示していくのかということが必要だと思うので今後そういった議論ができればと考えている。</p> <p>◇予定価格250万円以上のものは予定価格の事前公表をしているということで、物品、役務等予定価格は非公表、随意契約も非公表と書いてある。今回入札の改革のきっかけにもなったということで説明があった「福知山市における入札制度改革を求める決議」の6番目に、入札前の予定価格の公表は、最低制限価格の想定を容易にし、入札業者の見積もり努力を損なわせることになりかねない。そこで予定価格の入札前の公表は控えるように検討されたいとある。この決議が出される以前から250万円以上の予定価格を事前公表している根拠、考え方を聞かせていただきたい。</p>	<p>入札制度の透明性、公平性というものがあ り、予定価格を事前公表してその工事のこ とを知っていただくということがあったの ではないかと思っています。</p> <p>補足ですが、すでに国は基本的に事後公表 を採用していますが、平成17年頃は、や はり最初に予定価格を公表しておかない と、「探り」というようなことが起こりやす くなるので、事前に予定価格を公表してお けば探ってくるようなことはないだろうと いうこともありました。制度というのは時代 とともに変わってきて、事前公表をする とそれを前提にして計算式で最低制限価格 がわかるので、最低制限価格に張り付くよ うな事態がでてきたところでは。時代と社 会の流れと制度は動いているというように 理解しているところです。事前公表が問題 のある部分もあるし良い部分もあります。 事後公表もそれなりで、その時々的情勢に 応じた中で、どれを選択するのかというこ とだと思っています。</p>
--	--

<p>◇今後の論議の基礎資料として教えていただきたいがデータにも福知山市の建設工事業者の登録者数の推移が出ているが、バブルの頂点であった平成4年の頃をポイントに、福知山市内の建設投資総額を民間も含めてどれ位であったのか？それから建設業者数、就業者数の数をバブルの頂点を一つのポイントとして教えていただきたい。</p>	<p>公共事業であれば資料がありますが、民間のものはありません。就業者数も資料が無いので次回までにしっかりとした数字をお示ししたいと思います。</p>
<p>◇民間も含めてのものが無ければ、公共だけでもいいのでバブル期を頂点とし比較して数字を出してもらいたい。</p>	<p>公共工事の部分だけを少しお話させていただきます。平成4年度の投資的経費の決算額から人件費、用地費を引いたものを建設改良費と呼んでいます。</p>
<p><b>福知山市の入札契約制度の見直し概要</b></p> <p>◇見直し概要として11項目上がっているが、それぞれが単独で議論できるものもあれば他の項目とオーバーラップしていてどちらも同時に議論していかないと前へ進まないというのも多々あるように思うので、それぞれテーマに沿ってやりながら幅広く議論させてもらえればと思っている。</p>	<p>少し申し上げましたが精査して公共なら公共、どういう基準のお金かということを整理して業者数も合わせて次回までに精査させていただきます。</p>
<p>◇実際の制度としての話とそれを運用しているという話と実際に今どうあるべきだという話と複雑に入り組んでいることなので個別に議論するのは難しいと考えている。1年間それほど期間が無いが、最初は、こうあるべきだという理念のよう</p>	

なところから始めないと、個別の制度から始めてしまうと制度ばかりできて非常にややこしくなってしまうことにも成りかねないと思うので、地域に貢献するということや効率化して頑張っているということや応援できるような良い制度、地域とは何なのかというところから議論して、そのためにどんなものが必要かというような議論ができれば良いのではないかと思う。もう一つは運用とあったが、みなさん現場で実際やっていただいている中で、うまくやって行くためにいろいろと工夫をされていると思うが、それを出来る限り明文化するような形で、総合評価をやるにせよ何にせよ踏み込んでいくことが望ましいのではないかと思う。例えば「基本的に」とはどういう意味かとか、「基本的に本店を有する事業者を指名する」とか「必要に応じて求めている」ということの運用はどういった考え方に基づいて、実際その結果、例えば入札の結果がどうなっているか、というところを一度見ておく必要があると思った。

◇入札制度改革というのは福知山市だけではなく全国どこの自治体もいろいろな取り組みをされていると思う。見直し概要の11項目のことにに関して、当然先進的な、日本国内において、或いは京都府内においても福知山市からすると少し先を行っているという取組をされている自治体があると思う。そういう情報、いわゆる比較の観点ということで、当然議論をするときに何も無いところからでは議論はできないので、どういう取組があり、

もしかすると今後の福知山市にとっても参考になるかもしれないというような、自治体間比較のような資料を事前に用意していただけると議論がし易いと思う。

◇委員会の議論を実りあるものにするためには事前の準備をしてもらい、果たしてこの制度は本当に良いのか、流れはどうなっているのか、また実際の運用はどうなのか、どうあるべきなのかというところに進めていかないと我々の委員会の役割も果たせないと思う。そういった意味で事務局には協力をお願いしたいと思う。

◇意見をぜひ参考にして当委員会の成果を発揮できるようにしていきたいと思う。非常に時間の制約もある中、踏み込んだ意見も出たようなので、本日は十分役割を果たせたのかなと思う。最後にこの制度がどういう風に決まり、またそれが運用されるかということは、市民から見れば税金がきちんと使われているのか、行政サービスはどうなっているんだという点、それから地元の業者にしても土木建築の占める比重というのは非常に経済の中で大きいので、そういう人たちが公正な競争をして、真面目な立派な業者が報われるんだという制度になっているのかどうかなど、非常にこの入札制度は重要なことなので、ぜひそういう方向にこの制度を持っていくように導きながら尽くしたいと思う。